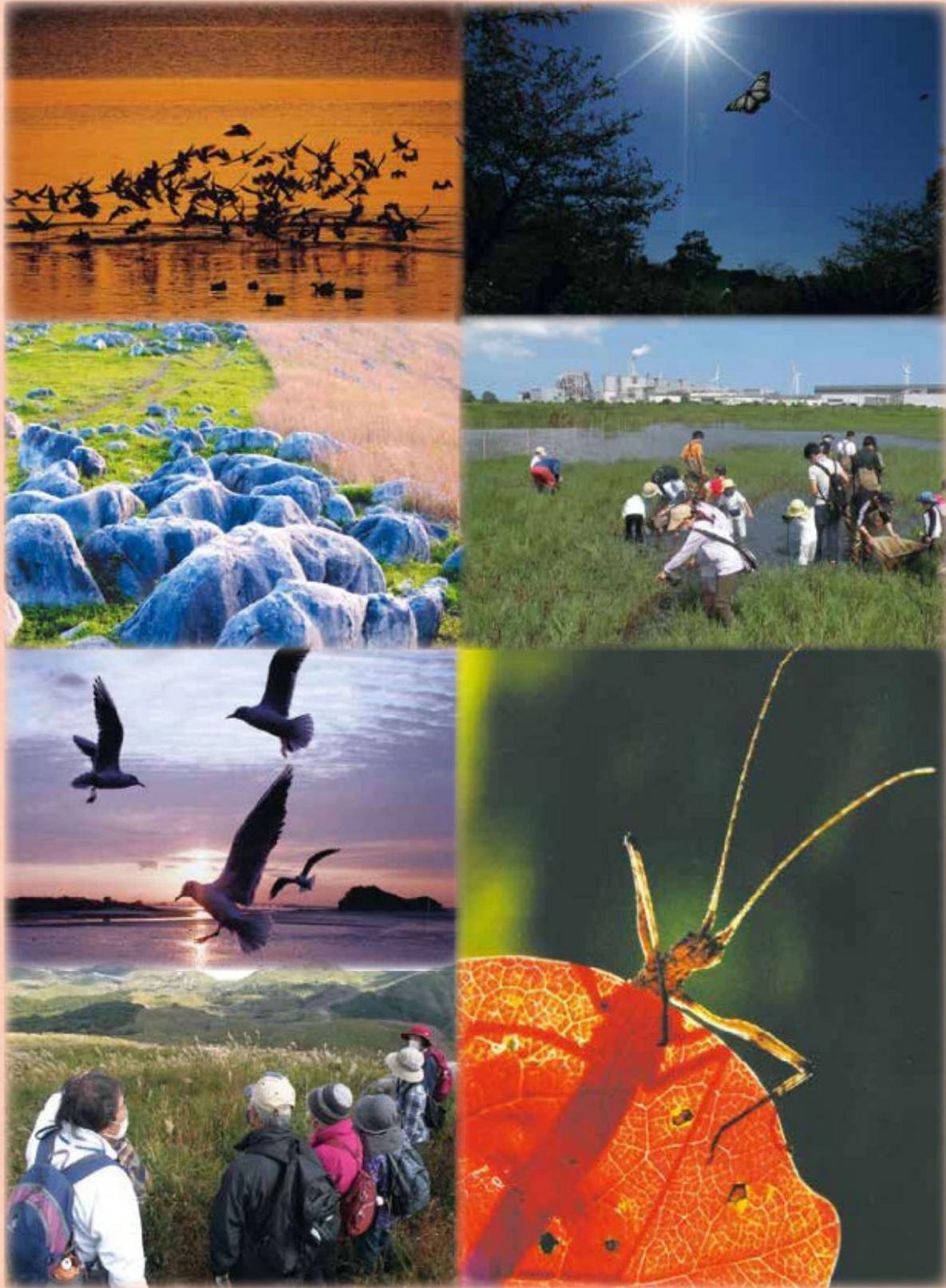


自然レポート 2022

～2022年の取組を紹介します～



北九州市自然環境保全ネットワークの会

もくじ

1.はじめに	1
--------	---

2.第2次北九州市生物多様性戦略の基本目標と基本施策	2
----------------------------	---

3.自然ネットの取組・自然ネット参加団体等の取組・戦略基本目標	3
---------------------------------	---

戦略基本目標 1	
● NPO法人環境ネットワーク	5
● 北九州グリーンヘルパーの会	
● 北九州植物友の会	
● NPO法人北九州ビオトープ・ネットワーク研究会	6
● NPO法人里山を考える会	
● 日本熊森協会 福岡県支部	
● 深町どんぐりのもり保育所	7
● NPO法人帆柱自然公園愛護会	
● 紫川河川塾	
● 皿倉登山鉄道株式会社(皿倉山)	8
● 合同会社Discover Walks	
● 北九州市立市丸小学校	
● 北九州インテリープリテーション研究会	9
● 公益財団法人 北九州活性化協議会もつたいいない総研	
● NPO法人 北九州国際自然大学校	
● 北九州ほたるの会	10
● 福岡県立東筑高等学校生物部	
● 森の育ち場	
● 今町校区まちづくり協議会	11
● ガシヤモク再生の会	
● 曽根新田花咲く町づくりふれあい会	
● 公益財団法人タカミヤ・マリバー環境保護財団	12
● 日本カブトガニを守る会福岡支部	
● 呼野環境整備委員会	
● 私たちの未来環境プロジェクト	13
● 光和精鉱株式会社	
● TOTO株式会社	
● 福岡県立北九州高校魚部	14
● NPO法人グリーンワーク	
● グリーンパーク活性化共同事業体	
● 九州国際大学付属高等学校生物研究部	15
● ジオ＆バイオ研究会	
● 日本野鳥の会北九州支部	
戦略基本目標 2	
戦略基本目標 3	
戦略基本目標 4	
戦略基本目標 5	

4.市各部局の取組

4-1 里地里山の持続的な利用	16
4-2 長野緑地「市民参加による農業体験教室」	
4-3 学習プログラムの取組	17
4-4 中山間地域農業支援事業	
4-5 地産地消の推進	18
4-6 多面的機能支援事業(旧:農地・水保全管理事業)	
4-7 環境学習事業の推進	19
4-8 自然環境に精通した人材の育成	
4-9 ほたるのふるさとづくり	20
4-10 荒廃森林再生事業	
4-11 竹等粉碎機貸出事業	21
4-12 流域ネットワーク推進事業 紫川流域会議	
4-13 流域ネットワーク推進事業 ラブリバーナン川ネットワーク	22
4-14 地域固有の生態系の保全と利用 曽根干潟環境保全の取組	
4-15 天然記念物平尾台土地買い上げ事業	23
4-16 希少種の保全(ガシヤモク保護対策)	
4-17 外来種対策への取組について	24
4-18 韶灘・鳥がさえずる緑の回廊創成事業(植樹による緑の回廊づくり)	
4-19 韶灘・鳥がさえずる緑の回廊創成事業(緑の拠点づくり)	25
4-20 新門司北地区緑地整備の取組	
4-21 環境首都100万本植樹プロジェクト～まちの森	26
4-22 環境影響評価制度推進事業	
4-23 環境配慮指針活用推進事業	27
4-24 自然環境調査の実施とデータベースの構築	

1 はじめに

北九州市は、
「第2次北九州市生物多様性戦略（2015年度－2024年度）」
を策定し、自然と人とのかかわりの歴史や経験を活かし、
将来にわたって豊かな自然の恵みを享受できる社会の実現を目指します。

基 本 理 念

都 市 と 自 然 と の 共 生

～「豊かな自然の恵みを活用し 自然と共生するまち」の実現を目指して～

本戦略は、パートナーシップの考えのもと、市民、NPO、学識経験者、事業者及び市で構成する

「北九州市自然環境保全ネットワークの会（通称：自然ネット）」が進行管理しています。

また、戦略の進捗については、数値目標を定めて評価を行うとともに、

環境審議会に報告しています。

これらを通じて、戦略についてのPDCAサイクルを適切に回していきます。

本戦略の推進体制

環境審議会など

国、県、周辺市町村などの
関係行政機関

報告

意見等

連携・協力

府内連携（北九州市）

環境局、
関係部局・区

パートナーシップ

市民、NPO、事業者等の連携

- 市民
- NPO
- 事業者
- 学識経験者
- 自然環境サポーター 他

北九州市自然環境保全ネットワークの会

② 第2次北九州市生物多様性戦略の基本目標と基本施策

戦略の5つの基本目標

基本理念の実現を目指すにあたり、取組を着実に推進するため、戦略の基本目標を設定しています。

12の方向性と60の基本施策の設定

基本目標の達成のために、取り組む施策の方向性と基本施策を設定しています。

基本目標

方向性

基本施策

1

自然とのふれあいを通じた生物多様性の重要性の市民への浸透

自然環境にふれあう機会の創出

- エコツアーや自然観察講座
- エコツーリズム、グリーンツーリズム等の促進
- 環境修学旅行・修学旅行誘致強化事業
- ふれあい花壇・菜園事業
- 水環境館を活用した市民啓発
- 身近なふれあいの場に関する情報の整備・提供
- その他の市民啓発事業

農林水産業の活性化と地産地消を通じたふれあいの推進

- 農地の保全
- 農業の振興
- 森林・林業の活性化
- 「里山づくり」による水産業の振興
- 水産環境の保全
- 地産地消の推進
- 農とのふれあいの場づくり
- 森林レクリエーションの場の整備
- 市民と交流する魅力ある水産業の創造

里地里山の利用と活用

- 里地里山の持続的な利用
- 里山の新しいあり方の検討
- 自然環境学習の場としての里地里山の活用

2

地球規模の視野を持つて行動できるような高い市民環境力の醸成

環境教育・学習の推進、普及啓発

- 環境教育事業の推進
- 学校教育における自然環境に視点を当てた教育の推進
- 洞海湾における環境修復体験事業
- 少年自然の家等における野外教育の推進
- 農業体験を通じた食農教育の推進

自然環境に精通した人材の育成

- 自然環境サポーター育成事業
- ほたるのふるさとづくり
- 水先案内人育成事業

3

自然環境の適切な保全による、森・里・川・海などがもつ多様な機能の発揮

生態系ネットワークの形成

- さまざまな主体による美化活動の一環としての自然環境の保全
- 森林の保全
- 河川環境の保全
- 自然海岸等の保全
- モニタリングサイト1000の設置と保全
- 自然環境保全活動支援事業

地域固有の生態系の保全と利用

- 曾根干潟の保全と利用
- 平尾台の保全と利用

希少種の保全及び外来種の対策

- 希少動植物の保護・保全対策の検討
- 特定種に対する保護・保全対策
- 外来種に対する市民啓発の実施
- 外来種に関する体制づくり

4

人と自然の関係を見直し、自然から多くの恵みを感じる状態の維持

自然と調和した都市基盤整備の促進

- 都市緑化の推進
- ビオトープなどの自然共生型地域づくり
- 清流の復活と豊かな水辺環境の創造
- 「新・海辺のマスター・プラン」に基づく水際線の整備
- 地域の自然環境等に配慮した道路事業の推進
- 人と野鳥が共存する環境づくり
- 環境首都100万本植樹プロジェクト
- 響灘・鳥がさえずる緑の回廊による響灘埋立地の緑の創成
- 八幡東田グリーングリッド整備事業
- 周辺の自然環境に配慮した北九州空港移転跡地等の土地利用計画

事業の実施に伴う環境配慮

- 環境影響評価制度に基づく環境配慮
- 北九州市環境配慮指針の活用推進
- 自然環境アドバイザー制度による支援
- 自然公園の適正利用
- 採石場、土取場跡地の緑化・修景

5

自然環境調査を通じて情報を収集、整理、蓄積し、保全対策などの活用

自然環境調査の実施とデータベースの構築

- 実態把握の推進
- GISを用いた自然情報データベースの充実と維持管理
- 自然環境調査結果のデータベースへの集約

市民参加による自然環境情報の収集

- 市民参加による自然環境調査
- 特異な地形・地質、水環境の実態調査
- 調査を通じた専門家の育成